広報 ひがしまつやま
Higashimatsuyama City Public Information
2025 7 No.1149

令和7(2025)年7月1日(毎月1日発行) 発行／東松山市 編集／広報広聴課
〒355-8601 東松山市松葉町1-1-58 ☎0493-23-2221 FAX0493-24-6123
東松山市公式HP
東松山しんふおメール登録二次元コード(市からのお知らせ、防災・気象・防災行政無線情報、イベント・講座・募集・相談情報など)
東松山市公式SNS(X、Facebook、LINE)

まちかどスケッチ 「こども農業塾」元気にスタート!!

5月31日(土)、神戸地区の田んぼで小学4～6年生16人が昔ながらの田植えを体験しました。これは、今年度から始まった「こども農業塾」春・夏コースの1回目で、講師の小澤さんから、1年間のお米作りの流れや苗作りなどを教わった後、雨の降る中、手植えを体験しました。

こどもたちは「わっ！足が気持ちいい～」「水は冷たいけど、土の中はあったかいよ！」と笑顔を見せてくれました。こども農業塾では、市内農家の皆さんから、農業の楽しさや市内農産物の魅力を教われる講座で、今後は梨の袋かけや有機野菜栽培、稲刈りなどを予定しています。

第16回 高坂民踊まつり

6月8日(日)、高坂市民活動センターで第16回高坂民踊まつりを開催しました。演目ごとに演者の衣装が変わり、親睦を深めながら伝承する民踊が披露されました。また、ゲストで麦打ち唄保存会、天保囃子連(ほうしれん)も出演し、参加者はリズムに乗りながら手拍子を打って楽しみました。

葛を用いた草木染体験教室

6月13日(金)、化石と自然の体験館で「草木染体験教室」を開催しました。葛の葉を用いて染色を行い、輪ゴムと割りばしを使って模様をつけることで自分好みのストールを作り上げました。完成品を見た参加者からは「完成するまでどのような模様になるか分からず、そこがまた面白い」などの声がありました。

この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

表紙の説明

今回の特集で紹介した古墳やお宝です。これらの文化財を作った古代の人々の知恵や技術は本当にすごいなと改めて感じました。

ところで、この表紙の中に前方後円墳はいくつあるでしょうか？

編集後記

今回の特集は市内の古墳に焦点を当てた内容でしたが、いかがでしたでしょうか？歴史が好きだから内容に興味が持てる！という人もいれば、反対に学生時代は苦手分野だったからアレルギー反応が出そうだ…という人で分かれるかもしれません(笑)そんな歴史分野を苦手と感じている皆さま！ぜひ埋蔵文化財センターに行ってみてください。貴重な文化財を見ながらセンター職員の熱い説明を聞けば、きっと興味を持てるようになるはずです。(あ)